

6年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が伝えようとしている内容の中心を、正しく聞くことができる。				
		二	2	分かりやすく伝えるために、話し手がどのような工夫をしているかを正しく聞くことができる。				
		三	3	話し手がどのような理由で意見を述べているかを、正しく聞くことができる。				
		四	4	話し手がどのような理由で意見を述べているかを、正しく聞くことができる。				
		五	5	自分の考えを分かりやすく伝えるために、立場や理由をはっきりさせて、決められた字数で書くことができる。				
読むこと	二	一	6	筆者が伝えようとしている内容を、正しく読むことができる。				
		二	7	述べられている内容を、正しく読むことができる。				
		三	8	事実と筆者の考えを区別して読むことができる。				
		四	9 10	筆者が伝えようとしている内容を、正しく読むことができる。				
		五	11	目的に応じて、必要な図書資料を選ぶことができる。				
書くこと	三		12	資料を読んで考えたことについて、理由をはっきりさせて、決められた字数で書くことができる。				
言語事項	四	(1)	13	6年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	14					
		(3)	15					
		(4)	16					
		(5)	17					
	五	(1)	18	5年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	19					
		(3)	20					
		(4)	21					
		(5)	22					
	六	(1)	23	漢字の意味を考えて、熟語を正しく作ることができる。				
		(2)	24					
					/ 4	/ 2	/ 6	/ 1 2

今後の学習に向けて * 自分がかんばりたいところに○を付けましょう。

聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> 「どのような考えが、どのような理由で話されているかを考えながら聞く」「自分の考えと、どこが同じで、どこが違うかに注意して聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について、復習しましょう。 国語の授業で学習した大切な聞き方を、授業中の先生や友だちの話を聞いたり、毎日の生活にも生かしましょう。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> 最初に、どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、自分の意見とその理由を別々の文で書くようにしましょう。 一度書いた文章を、読む人の気持ちになって読み返し、伝わりにくいところを書き直すことも大切です。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> 説明文を読むときには、まず、筆者が何を伝えようとしているかを明らかにしましょう。そして、各段落のつながりに注意しながら、考えを伝えるためにどのような事実を用いているか、それぞれの説明は何について書かれているかなどを考えながら読むようにしましょう。 国語の読みの授業で、自分の考えを進んで発表したり、友だちの考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字については、国語の時間だけでなく、他の教科の授業や毎日の生活の中で、読み方が分からない場合は確かめたり、学習した漢字を使って書いたりするように心がけることが大切です。 漢字を練習する時に、その漢字が使われる熟語にどんなものがあるかにも注意しましょう。